

# テーマ 教諭とスクールソーシャルワーカーの臨床力向上と協働の方法

## ～ 学校と地域の連携 ～

2018年度 日本学校ソーシャルワーク学会北海道ブロック研修会

**対象** 小・中・高等学校教諭、養護教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、その他医療・福祉関係者

**日程** 2018年11月10日（土）14時～17時30分

**会場** 北星学園大学 B館 B402教室

札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

地下鉄・東西線「大谷地」駅・1番出口より徒歩5分

**参加費** 1,000円（学会員・学生500円）

**定員** 100名（先着順とさせていただきます）

※申し込みについては裏のページをご覧ください。

**趣旨** 文部科学省が2008年に「スクールソーシャルワーカー活用事業」を開始して10年が経過し、2016年からは“チーム学校”に向けて新たな取り組みをスタートさせたことから、ますます学校が地域において様々な機関とネットワークを形成していくことが重要になってきました。そしてスクールソーシャルワーカーにはさらに学校と地域の連携を促進する役割が期待されています。本年度におきましては、引き続き教諭とスクールソーシャルワーカーの協働をテーマに、より実践的、具体的な地域との連携方法について学びます。

### プログラム

※受付は13時半より

14:00～14:05 趣旨説明・オリエンテーション

14:05～15:35 講演「スクールソーシャルワーカー・学校・地域の効果的な連携とは」

講師 福岡県立大学人間社会学部 准教授

奥村 賢一 氏

15:45～17:30 シンポジウム「スクールソーシャルワーカー・学校・地域の効果的な連携とは」  
シンポジスト

札幌市立屯田南小学校 教頭

高橋 美保 氏

スクールソーシャルワーカー

佐藤 珠美 氏

コーディネーター

北星学園大学社会福祉学部 専任講師

大友 秀治 氏

コメンテーター

福岡県立大学人間社会学部 准教授

奥村 賢一 氏

### 講師紹介 奥村賢一 氏 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授

同志社大学文学部社会学科を卒業後、京都市内のグループホームや居宅介護事業所にて知的障害・発達障害のある人の地域生活支援に従事。その後、2007年から福岡県内の複数の市町でスクールソーシャルワーカーとして活動を行った後、2010年に福岡県立大学に着任してからはスクールソーシャルワーカーの教育課程を担当している。日本学校ソーシャルワーク学会理事。福岡県スクールソーシャルワーカー協会副会長。福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカースーパーバイザー、福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカースーパーバイザー。  
〈主な著書〉「スクールソーシャルワーカー養成テキスト」（中央法規出版）、「スクールソーシャルワーカーのしごと—学校ソーシャルワーク実践ガイド—」（中央法規出版）、「スクールソーシャルワーカー実務テキスト」（学事出版）、「スクールソーシャルワーカー実践事例集」（中央法規出版）など多数。

後援

北海道教育委員会、札幌市教育委員会、  
（公社）北海道社会福祉士会、（一社）北海道精神保健福祉士協会

## 申し込み方法

EメールかFAXにて参加をお申込みください

返信×切：11月3日（土）

### 1. Emailでの申し込み

- ・アドレスは、[sswhokkaido@gmail.com](mailto:sswhokkaido@gmail.com) (北海道ブロック 運営委員会)
- ・タイトルは、「北海道ブロック研修会の申込み」としてください。
- ・メール本文に次の内容を記載して送信してください。下記のFAX用フォームを添付していただいてもかまいません。  
①氏名 ②所属 ③参加種別(学会員・学会員以外・学生) ④電話番号 ⑤メールアドレス

### 2. FAXでの申し込み

- ・以下のフォームをご利用ください。
- ・宛 先： 北海道医療大学 福間研究室 (FAX番号 0133-23-3242)
- ・問い合わせ： 北海道医療大学 看護福祉学部 福間 麻紀  
Tel 0133-23-1211 (内3611) / 直通Tel・Fax 0133-23-3242

※お問い合わせは、電話が繋がらない場合はメールかFAXでお願いします。折り返しご連絡させていただきます。

2018年日本学校ソーシャルワーク学会北海道ブロック研修会		FAX申込用紙
		FAX番号 0133-23-3242
①所属		
②氏名		
③参加形態 (○をつけてください)	・学会員    ・学会員以外    ・学生	
④電話番号		
⑤メールアドレス		